

# えひめ国体・えひめ大会推奨花の栽培マニュアル (定植から開花まで)

## 1 ポリポットでの管理

ポリポットの状態でしばらくの間、管理しなくてはならない場合は、一日中日差しが当たるような場所を避けて、建物の陰になる場所や西日が当たらない場所で管理してください。(植え傷みを防ぎます。) また、ポリポットの土の表面が乾いたら水をやさしくたっぷりと与えてください。(水やりは「乾いたらたっぷり」が基本です。)

ポットトレイの中で、隣の苗の葉と触れ合うようになってきたら、ポリポットの間隔を広げます(スペーシング)。日当たり・風通しを良くすることで病害虫の発生を防ぎます。

ポットトレイにポリポットを詰め込んだ様子



スペーシングを取った様子



## 2 ポリポットの苗を抜き取る

ポリポット苗の根元を人差し指と中指で挟むように押さえ、苗を逆さにしてもう片方の手でポリポットをつかむようにして苗を抜き取ります。

苗を指で挟んだ様子



ポリポットを逆さにして抜き取る様子



ポリポットから苗を抜き取った様子



### 3 プランターに植え付け

抜き取った苗の根を軽くほぐし、土を入れておいたプランターに、4株をバランスよく配置します。（プランターの約半分は土を入れ、その上にポット苗を置きます。バランスよく配置できたらポット苗の周りに土を入れていきます。）

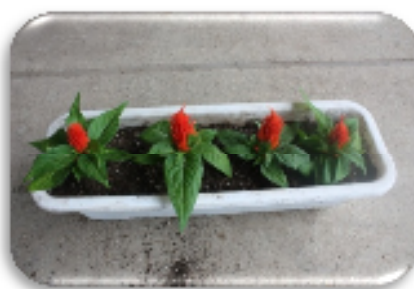
プランターの縁から2～3cm程度低くなるように苗の高さを調節しながら、株の根元の周りに土を入れていきます。最後に株元がふらつかないように軽く押さえて固定します。植え付けが終わったらたっぷり水を与えます。

プランターを直接土の上に置くと病害虫（ナメクジ等）の被害に侵されることがあるので、ブロックやレンガ等を下に敷き、地面から離して置くようにします。もしくは、セメントやアスファルト塗りの上に置くようにします。

苗の根をほぐす様子



4株バランスよく植えた様子



プランターの縁から  
2～3cm低くする



ウォータースペース

### 4 水やり

土の表面が乾いたら、プランターの底からしみ出すまで水をたっぷり与えます。植え付け直後の水やりは特に重要なので、土の乾き具合を見ながら、苗に直接水がかからないように水やりを行います。暑い時期の水やりは、日中に行うと株が蒸れて根腐れするので、朝夕の涼しい時間帯に行います。

**※基本は朝に水やりを行います。暑い日の午後以降、土が乾いていたり、葉がしおれていたりする場合は、ホースの中に残った熱い水を避けた上で2回目の水やりを行います。**

プランターの底から水が流れる様子



### 5 手入れ

新芽の部分を摘み取る（摘芯）と、開花は遅れますが、こんもりとしたボリュームのある形になります。苗の半分程度の高さの葉や芽のあるところで切る（切り戻し）と、しばらくすると新芽が伸び、再び開花します。

咲き終わった花や病気になった花を花茎のところで摘み取る（花がら摘み）と、長い期間花を咲かせることができます。

摘芯



切り戻し（前後）



花がら摘み

